## 令和4年度事務事業評価(外部評価)最終結果表

	事業名	事業主管課	根室市外部評価委員会による評価結果								事業主管課による対応結果		
No.			但	別評価	i(多数	決結果							
			不要 (廃止)	民間	委託	要改善	現行 どおり		外部評価委員の意見・コメント等	対応結果	今後の対応結果(方針)等	令和5年度予算内容及び対応状況	
1	図書館図書整備事業	教育委員会図書館	0	0	0	3	1	要改善	■利用者ニーズに応えるべく、蔵書整備については良く取組まれていると思うが、利用者を増やす工夫をもう少し頑張ってもらいたい。 ■現在の貸出等で周っている場所を増やし、図書館に行けない方に本に触れる機会をもっと作ってほしい。 ■オンライン検索システムは、あまり知られていない。図書館利用者向上のためにも、QRコードの活用など若者に対応した方法や、市公式LINEなどで、書籍情報、貸出方法を含め周知してみてはどうだろうか。	改善	■玄関正面YA(青少年向けコーナー)を、児童生徒が興味を持ちやすいように修正した。  ■移動図書館パスについては、現行においても学校等の他、訪問先に福祉施設も増やし対応している。  ■検索システムのQRコードを館内に掲示、画面上も図書の装丁が確認できるように修正した。	[令和4年度] 図書館図書整備事業 7,000千円 (比較増減) - 千円 ■予算の増減はありませんが、更なる市民ニーズに合わせた蔵書整備を行い、 生涯学習施設として幼児から高齢者まで全ての市民が快く読書を楽しめるよう に環境整備を進め、また学校図書室とも連携し、児童・生徒のための機能充実 を図って参ります。	
2	放課後教室管理運営 経費	教育委員会社会教育課	0	0	0	1	3	現行どおり	<ul> <li>■開館時間の延長は保護者の皆さんから良かったとの評価を聞いている。運営は大変とは思うが、働くお母さんたちの助けになっていると思います。</li> <li>■小さいお子さんを受入れる際には、現状スタッフが負担増とならないよう対応いただき、共働きの家庭が安心して預けられる環境を作っていただきたい。</li> <li>■今後の運営を維持するためにも、地域の方へ協力をお願いするなど、指導員の確保と待遇等検討いただきたい。</li> </ul>	現行どおり	■開館・受入時間の繰り上げについて、令和6年度の実施に向け、令和5年度において、利用者のニーズを把握するための調査を行い、その結果に基づき必要なスタッフ数、体制や待遇などについて検討を行い、令和6年度実施に向けて取り組みを進める。	【令和5年度】放課後教室管理運営経費 65,628千円 【令和4年度】放課後教室管理運営経費 57,842千円 (比較増減) 7,786千円 増  ■引き続き、放課後等における児童への遊びや生活の場を提供するとともに、必要な学習や活動を実施し、子どもの健全育成を図る。  ■また、開館・受入時間の繰り上げについて、利用者のニーズを把握するための調査を行い、令和6年度の実施に向けて必要なスタッフ数、体制などについて検討し、子どもたちにとってよりよい環境となるよう取り組みを進める。	
3	幼保小中高教育連携 事業	教育委員会 教育総務課	0	0	0	1	3	現行どおり	■地域の大人や行政機関が、どのように子どもたちの育成に関わり、繋がって行くかが課題であり、しっかりと連携・協働していてとが必要である。 ■義務教育の中で、人とのかかわり方を教育するなど、子どもたちに目を向けていただきたい。地元高校を卒業し、地元に就職できるよう教育をお願いします。 ■個々に支援を必要とする子を持つ親は増えており、根室市で教育を受けさせることは不安だとの声を聞くので、診断や相談の機会の充実を図ってほしい。	現行どおり	■引き続き、小学校就学前の幼稚園、保育所等から、義務教育、高等学校までの教育課程において、根室市で育ち・学ぶ子供たちを市として切れ目なく支援することや、地域と学校が協働して子どもたちを見守り・育てる仕組みを構築することなどにより、当市の教育を有機的に連携し、その内容の充実を図る。 ■また、学力向上はもとより、コミュニティ・スクールを通じて地域への関心を高める等、子どもたちの人としての健やかな成長を支援するにあたって、本事業を着実に推進していく。 ■幼保小中高の連携の中で、情報共有を図ることはもとより、必要なカウンセリング体制を構築充実など取組を進める。	【令和5年度】幼保小中高教育連携事業 64,776千円 【令和4年度】幼保小中高教育連携事業 56,210千円 (比較増減) 8,566千円 増 ■引き続き、学校と地域が一体となって、将来の根室を担う子どもたちを育てるコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度/中学校区で設置)や北海道根室高等学校教育振興会への更なる支援・充実を図るはか、児童生徒へのかりンセリング体制の構築に努めるなど、幼稚園、保育所等から、義務教育、高等学校まで、切れ目のない支援の充実に取組む。	
4	難聴者·中途失聴者支 援事業	市民福祉部社会福祉課	0	0	0	0	4	現行どおり	■周りの目を気にせず普通に窓口で手続きができる環境が必要ではないか。特に福祉関係の話は聞かれたくない部分もあるので、個室で対応するなど考慮いただきたい。 ■手話講座については、今後も続けていくということを前提に、難聴者の意思や気持ちを踏まえて進めてほしい。 ■約100名いる難聴者へアンケートを取るなど、難聴者の方々が何を重視しているのか、本当に必要としている対策を考え進めなければ、一方通行になる。	現行どおり	■手話講座の開催については、難聴者に寄り添った内容を心掛け、今後も継続して行っていて必要があると考える。 ■令和5年度は、「根室市障がい者計画」の見直し時期であることから、アンケート調査等を実施し、その結果を精査のうえ今後の施策への検討といたしたい。	■講習会実施に係る周知方法について、これまでの報道依頼、新聞折り込み、市HP、Facebookに加え、令和 5 年度からLINEにおいても周知を図り、受講者の増加を図ります。	
5	母子保健妊娠期支援 事業	市民福祉部保健課	0	0	0	0	4	現行どおり	■他の自治体においては、移住する際のセールスポイントとして、「安心して子どもを産み育てられる環境」が良く取上げられており、重要な取組みである。  ■少子化対策として良い事業であり、多くの市民に制度を知っていただき、安心して出産できる環境を作ってください。	現行どおり	■引き続き、安心して子どもを産み育てる環境を作り、少子化対策に繋げて参る。  ■また、多くの市民に各種制度を周知するために、積極的に紙媒体やSNS等を活用し、効果的な情報発信に努める。	【令和5年度】母子保健妊娠期支援事業 10,943千円 【令和4年度】母子保健妊娠期支援事業 13,270千円 (比較増減) 2,327千円 減 ■紙媒体やSNS等を活用した情報発信を強化し、取組内容について、より市 民に伝わりやすい周知に努めて参る。 ■引き続き、妊娠期における母子を支援する。新年度予算については、利用実 績を考慮し、予算額を見直したため減額となったもの。	

## 令和4年度事務事業評価(外部評価)最終結果表

	事業名		根室市外部評価委員会による評価結果								事業主管課による対応結果		
No.		事業主管課	個別評価(多数決結果)				)	A 44 = 77 (77	NAMES OF THE PARTY				
			不要 (廃止)	民間	委託	要改善	現行 どおり		外部評価委員の意見・コメント等	対応結果	今後の対応結果(方針)等	令和5年度予算内容及び対応状況	
6	地域ポイントカード支援事業	水産経済部 商工労働観 光課	0	0	0	2	3	現行どおり	■行政ポイントを活用するためにも、商店街の連携や加盟店舗を増やすための啓発活動、市民に繰り返し制度周知することが、市中経済の活性化を図るために重要であると考える。 ■支援事業としては良いが、行政ポイント付与後のあり方が大事かと思います。	現行どおり	■今後も、広報誌や市ホームページでの周知や定期的に リーフレットを作成の上、公共施設での掲示や配架などにより、 市民周知に努める。 ■事業の実施主体である地域ポイントカード会と連携し、加盟 店舗の拡大等につなげ、地域経済の域内循環により市中経済 の活性化を図って参りたい。	[令和5年度]地域ポイントカード支援事業 3,217千円 [令和4年度]地域ポイントカード支援事業 3,217千円 (比較増減) - 千円 ■新年度予算措置の増減はないが、外部評価委員会の意見を踏まえ、今後 も定期的な市民周知に努めるとともに、事業実施主体である地域ポイントカード 会と連携し、加盟店舗の拡大等につなげ、地域経済の域内循環により市中経 済の活性化を図って参りたい。	
7	エゾシカ有害駆除事業	水産経済部農林課	0	0	0	5	0	要改善	■エゾシカの生息数増加により、農業被害のほか、交通 事故、自然食害と地域における影響は大きいことから、狩 猟免許取得者の増加と合わせ、新規ハンターの育成は 急務である。 ■国道沿いにはクマ出没の看板が設置されているが、鹿 注意の看板もあると良いと思います。 ■事業を拡大し、普及啓発事業について検討してみても 良いのではないか。	改善	■ハンターの担い手確保対策として現在実施している、狩猟免許取得等補助金を継続しながら、新規ハンターが求める講習内容等のニーズを把握し、切れ目のない育成対策を検討して参ります。 ■個体数の増により、住宅地や郊外にも鹿が見られ、市民生活に不安や支障が出ていることからも、鹿に対する知識や対応方法等について、広報誌やSNS等を通じて、情報発信して参ります。	[令和5年度]鳥獣被害防止対策事業 8,885千円 [令和4年度]鳥獣被害防止対策事業 7,002千円 (比較増減) 1,883千円 増  ■新年度の予算措置については、更なる捕獲体制の強化を図るため、被害防止対策を実施する根室市鳥獣被害防止対策協議会への負担金及び、エゾシカの捕獲頭数の増が想定されることから、処理経費を増額し、鳥獣による各種被害の減に向け、取り組んで参ります。	
8	防災対策推進事業	総務部 総務課	0	0	0	0	5	現行どおり	<ul> <li>■町内会構成員は1人暮らしの高齢者が多くなり、民生委員と連携し情報把握が必要であるが、現状できにくなっている。共助としての地域住民の意識改革も必要であり、啓発活動を繰り返し実施することが重要である。</li> <li>■市内の民間企業は、BCPについて殆ど知らないし策定していない。緊急時の行動プロセスは各企業に任せるとして、ある程度、「促進」という部分で行政が動いた方が良いのかと思う。</li> </ul>	現行どおり	■近隣の人々が協力して行う避難行動などについて、防災出前講座等を通して継続して防災意識の普及・啓発に努めたい。  ■BCP(事業継続計画)の策定は、事業者の防災に関する重要な取組みの1つであることから、その促進策について関係課とも連携の上、検討したい。	【令和5年度】防災対策推進事業 11,186千円 【令和4年度】防災対策推進事業 2,122千円 (比較増減) 9,064千円 増 ■令和5年度においても、防災出前講座をはじめとした各種事業を展開し、防災意識の普及啓発を継続して実施する。 ■令和5年度予算は、家具転倒防止器具の購入・取付に対する助成制度等を創設予定のため増額となったもの。	
9	姉妹都市連携推進事 業	総務部総務課	0	0	0	1	4	2012 C02 2	<ul> <li>■市図書館に黒部市の資料コーナーを設けるなど啓発活動を行うことにより、姉妹都市交流に関心のない市民の方への理解は深まるのではないだろうか。</li> <li>■絆が更に深まるような交流、次代を担う児童・生徒へと繋げていく方策など、新たな取組みを持って進めていただきたい。</li> <li>■官主導から民間主導で、黒部市・根室市の市民同士の交流が発展していくことが理想的である。</li> </ul>	現行どおり	■姉妹都市交流に関する市民への啓発を含む会員拡大や民間による取り組みの強化については、これまでも課題の一つであったことから、引き続き、これまで築いてきた交流の取り組みを継続する。  ■令和4年度から始まった小学校によるオンライン交流など新たな取り組みの後押しをするためにも、広報紙などを通じた市民周知など、子どもから大人までの多くの市民が黒部市への関心を高め、民間による活動が活発化するような取り組みを検討していきたい。	【令和5年度】姉妹都市連携推進事業 1,150千円 【令和4年度】姉妹都市連携推進事業 900千円 (比較増減) 250千円 増 ■令和5年度においても、今年度からスタートした小学校によるオンライン交流 事業を継続事業とするための取り組みとともに、スポーツや文化交流などの事業 を展開していく。 ■これまで学校給食食材の相互交流については、水産加工振興センターで研 究開発した試作品を提供していたが、製品化など一定程度の成果を得られたた め、令和5年度より製品を購入し、黒部市へ提供することにより増額となった。	
10	グランドデザイン策定事 業	総合政策部総合政策室	0	0	0	0	5		■女性が住みたい、子育て世代の母親が根室に子どもを 残したいと思うことが重要である。 ■高齢者が安心して住めるまち、若者にとってはコンパク トだけど、根室の強みを活かしながら、未来を拓いていくま ちになれば良いと思う。 ■様々な世代や立場の市民が主体的にまちづくりへ参 画することが重要ではあるが、外の世界を知る方の意見を 取り入れることも良いことだと考えます。	現行どおり	■毎年実施している市民意識調査の満足度調査結果や、地方創生有識者会議の有識者の発言から、「若い女性が住み続けられるまち」が重要な視点であると認識しているほか、働く現役世代の将来を見据えた産業基盤、また、移住政策も重要な視点であると捉えている。 ■令和5年度より「第10期根室市総合計画」の策定作業が開始されるが、策定にあたっては様々な世代や立場の市民の参画を図っていく考えであり、将来を担う人材育成に努めて参りたい。	【令和5年度】 千円 【令和4年度】グランドデザイン策定事業 9,618千円 (比較増減) 皆滅 ■本事業は、令和元年度から令和4年度の事業であり、令和4年度末を持って、「公共施設のグランドデザイン構想(案)」を取りまとめることから、令和5年度事業予算は計上していない。 ■今後においても、まちづくりに関し様々な世代や立場の市民、外部有識者の意見も参考として取り入れながら、将来を担う人材育成に努めて参りたい。	
	経過概要			■令和5年1月5日 外部評価の公開実施に向けた市民周知(市HP・新聞等) ■令和5年1月10日 第1回会議開催(委嘱状交付、概要説明、事務事業評価の外部評価を実施)						検討と結果	F2月15日 評価結果を事業主管課へフィードバックの上、対応 2報告について指示 F3月9日 事業主管課による対応結果及び予算要求状況報	■令和5年2月21日 新年度予算案の公表 ■令和5年3月20日 新年度予算案の議会議決 ■令和5年3月29日 第2回根室市外部評価委員会開催(結果報告)	